

令和5年12月15日

令和5年度 第2回 大阪市立加美北幼稚園 学校協議会 実施報告書

校 園 名 大阪市立加美北幼稚園

校 園 長 堂 前 厚 代

日 時	令和5年12月13日（水）14時～15時	
場 所	大阪市立加美北幼稚園 遊戯室	
出席者	・宮下 博敏（委員） ・山口 政野（委員） ・石橋 徳子（委員） ・飯尾 吉司 （委員） ・櫻井 沙織（委員） ・江坂 祥子（委員） ・堂前 厚代（園長） ・谷 麻里子 （教諭）	
議 題	(1) 令和5年度「運営に関する計画・自己評価（中間評価）」について (2) 大阪府国公立幼稚園・子ども園長会保護者アンケート結果報告について (3) 協議	
	協議の結果	意見の概要
協 議 要 旨	○「学校運営の計画・自己評価（中間評価）」について、内容の理解を得た。 ○保護者アンケートでは、目標を達成しており、評価は妥当である。 ○目標及び取組内容に関して、概ね理解を得た。	○園から「運営に関する計画・自己評価（中間評価）」に沿って、詳細を説明した。 ○保護者アンケートでは、いずれも目標を達成しており、評価については妥当である。 ○日本人は、自分のことを話すことが苦手とする文化だと思う。大人も子どももコミュニケーションがとりにくく、つながりが少なくなっている。とくにコロナ禍で、子どもたちも近所の子とも同士のかわりかかわりがもちたくてもてないでいると思う。幼稚園で人と関わることを楽しんだり、自分の思いを言葉にして伝えたりすることで、互いの考えを認め合い、より友達と関わるのが楽しいと感じるようになってほしいと願う。 ○子どもたちは、興味をもつことで集中したり、やろうとしたりして成長していく。時代と共に遊び方が変化していく。学校では、実生活から外れたことを学んでいることもある。実生活で伴うものは、興味をもって学ぼうとしている。読解力を図るリーディングスキルテストをしているが、できるかどうかを選別するだけで、読解力は身につかないでいる。これからは、ツールで学んでいく時代になる。感覚で身につけて理解していくことができるようになる。 ○園で、楽しい活動を毎日しているおかげで、集中して取り組むようになった。 ○小さい時に身についたことが、大きくなったら役にたつと感じる。お手伝いなどの経験が生きる力になると思う。
協 議 資 料	・ 令和5年度 運営に関する計画中間評価 ・ 添付資料（クラスだより「子どもの姿」・大阪府国公立幼稚園・こども園長会保護者アンケート結果・研究保育指導案）	
備 考	傍聴者【0】名	

